

五小っ子

平成31年度 学校便り第13号 (9月20日)
(令和元年度)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**
『生命を大切にし、進んで学ぶ
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

敬老祝賀会

『暑さ寒さも彼岸まで』そんな季節になりましたが、皆様お元
気でお過ごしのことと存じます。



去る9/16(月)敬老の日にサブアリー
ナで開催された安中地区敬老祝賀会では、
3年生の中川さんと番家さんの二人が作文
を朗読し大きな拍手をいただきました。

この写真でお分かりかと思いますが、普
段通りの二人の笑顔がとても素敵で、校長
としてとても誇らしく思いました。

「ご苦労さま、そしてありがとう!!!」

さて、古川市長さんが祝辞の中で述べら
れましたが、島原市には現在100歳以上の
方が50名、本年度中に100歳の誕生日を
迎えられる方が21名つまり、70名を超

えるのだそうです。

厚生労働省のまとめによると、2019年9月15日時点の住民基本台帳に基づく
100歳以上の高齢者の数が前年より1453人増加し、初めて7万人を突破し、7万1
238人となったと報道されました。100歳以上人口の増加は49年連続、100歳以
上の人口は圧倒的に女性が多く、全体の88.1%を占めているのだそうですよ。

最高齢の女性は福岡市在住の田中カ子(かね)さん116歳。田中さんは3月に世
界最高齢者としてギネスに公式認定されています。男性は北海道足寄町在住の渡辺
智哲さん112歳ということです。

高齢者の方は、年齢を重ねる中でたくさんの勉強や体験をし、生きる知恵を貯え
ておられます。「人生の名人」と言っても良いと思ひ
ます。

敬老の日というのは、高齢者の方を大事にしよう、
いたわろうというだけではありません。長い間の貴重
な体験・知恵を学ぶ日でもあるのです。また、その事
を考える日でもあるのです。そうする事が、高齢者の
皆さんを大切に、尊敬する事となるのです。

毎年安中長寿会の皆様が五小の除草作業をしてくだ
さいますが、今年も20名の皆さんにお出でいただき
ました。(本日のお話です)

改めて感謝申し上げます。



お彼岸豆知識 その①「彼岸の期間は？」

今日9月20日が彼岸の入りで、23日は秋分の日です。春の「春分の日」と秋の
「秋分の日」は、昼間の時間と夜の時間がほぼ同じになる日です。この「秋分の日」が過
ぎると、少しずつ暗くなるのが早くなります。秋の夜長というのもここからきています。

この「秋分の日」を彼岸の中日と言い、前後の3日間を合わせた一週間を「お彼岸」と
呼びます。今年でいうと9月20日(金)から26日(木)がお彼岸の期間ということ
になります。

今の自分が生かされている事を祖先に感謝することでおだやかな心を保つという日
本独特の文化がお彼岸に残っています。

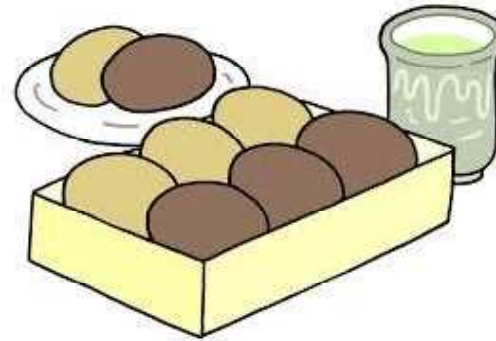
その②「ぼたもちとおはぎの違いは？」

お盆には果物やお菓子など、さまざまなお供え物
が供えられます。

一方でお彼岸のお供え物と言え、ぼたもちやお
はぎであることは、現在ではあまり知らない方々も
多くなりました。

『ぼたもちとおはぎの違い』については諸説が有
り、粒あんをおはぎ、こしあんで包んだものをぼた
餅と呼ぶ地方もあるそうです。

一般的には、粒あん・こしあんに関係なく春のお彼岸の頃に『ぼた餅』と呼び、
秋のお彼岸の頃は『おはぎ』と呼ぶようです。



これは、春を代表する花「牡丹(ぼたん)」
と秋を代表する花である「萩(はぎ)」に由来
していると言われています。

明日からの三連休、夕食後にテレビを消して虫
の音を聴きながら秋の夜長に「親子で読書」もい
いですね。

何よりも、台風17号への備えを万全にし、安全
に気をつけてお過ごしください。

ひがんばんな
金子 みすゞ
村のまつりは
夏どころ
ひるまも花火を
たきました
秋のまつりは
となり村
日がさのつづく
うらみちに
地面(じべた)のしたに
すむひとが
線香(せんこ)花火を
たきました
あかい
あかい
あかい
ひがんばんな

